

【第8期】第5回柳瀬川・空堀川流域連絡会

全体会議事録

■開催日時・会場

日時：平成29年5月29日（月） 14：00～16：00

会場：北多摩北部建設事務所 2階第1・2会議室

■出席者

都民委員9名／団体委員3名／行政委員9名／事務局等4名

■議事要旨

【第4回議事の確認】

事務局

＜第4回流域連絡会での主な発言について、以下のとおり報告を行いました。＞

- ・会議の進行について、挙手の上、座長の指名を受けてから発言するというルール化した方がよいのではないですか
- ・限られた時間の中で、議案ごとの時間配分を調整する必要があります
- ・なるべく全員が発言できるようにしてほしい
- ・工事の詳細な話よりも、将来像などもっと全員で語れるような話をした方がよいのではないですか
- ・工事の内容は重要な関心事項なので、予定などの情報提供は必要です
- ・テーマをいくつか（例えばふたつ）に絞って進めていくのがよいのではないですか
- ・発言の主旨が違うなど、問題があれば事務局までお知らせいただきたい

【平成28年8月22日台風9号の降雨記録】

事務局

＜資料-5に基づき以下のとおり概要報告を行いました。＞

- ・前回配布した資料の中で質問があった、実際にどれくらい雨が降ったのかを示したもの
- ・中里（清瀬市：空堀川石田橋）は時間最大71mm/h r、総量171mm
- ・東村山（東村山市：空堀川丸山橋）は時間最大73mm/h r、総量196mm
- ・東大和（東大和市：空堀川・奈良橋川合流地点）は時間最大77mm/h r、総量213mm
- ・武蔵村山（武蔵村山市：残堀川青岸橋）は時間最大71mm/h r、220mm
- ・各所で、概ね同じように1時間に70mm以上の雨が降りました
- ・ちなみに北北建管内では、立川市で時間最大81mm/h rを記録したところがありました

都民委員

私は丸山橋なども見ていたので知っていますけれど、水位は計られていますよね？水量は測っていないのですか？ 普通HQ曲線を作れば、水位を計れば水量は出ると思いますが。これは、ただ何mm降りましたというものですよね？

事務局

水位の記録はありますが、イコール流量にはならないです。ここはHQ曲線は作っていないと思

います。推定はできますが。その時の流速と、ちょっと詳しい話になってしまいますが、それがしつかりとできていないので、イコール流量はたぶん出ないかと。

団体委員

流速は計っていないのですか？ 今、超音波で簡単に測れますよね？

事務局

空堀川につきましては、計っていないです。

都民委員

でも、それでは意味がないですよ。実際どれだけ水が出ているかを調べて、それを設計にフィードバックしないといけないと思いますけれど。私の方から、それについてふたつほど提案をしたいと思います。ひとつは、昨日の私共の東村山の川まつりに、大勢来ていただいて、最後までテントの撤収作業を手伝っていただいて、非常にみなさんに感謝しています。ありがとうございます。それはいいですが、去年の8月22日に、空堀川では、水がほとんど護岸の天端すれすれか、若干超えたところもありました。今年、川まつりで何かおやりになるのかなと思ったら、何もないんですね。我々の方は自主的に地元の消防さんと防水訓練とか、いろいろやってみたのですが、地元の住民の方にとって、やはり水が来るのは非常に怖いですし、そういう時に少しでも防げるように、例えば土嚢積み等の訓練とか。私は土木屋ですから知っていますけれど、一般の方は1回も土嚢を積んだことなんてないんですよ。つくったこともないし、積んだこともない、どうやったらいいか分からない。今は水だけ入れればいようなものもありますよね？

そういうことをおやりになったらどうかと。今年もう終わっていますが、来年。もうひとつは、今の状況では、時間100mmぐらいの雨量というのは、毎年全国で起こっているわけですよ。「絶対に溢れないような川をつくってほしい」と言うんですよ、一般の市民は。でも現実の話からすると、今は30mm対応で、いずれ50mm対応になったとしても、3年確率くらいですよ、3年に1度溢れてもおかしくない。そういうことを、一般の市民の方にまず説明をしていない。なぜそうしているのか。やはり費用対効果の問題で、100mm対応というと今の川の幅を倍にしないといけないわけですから、ものすごく大勢の方にどいていただかないといけない。私も地元なので、少なくとも5~6人、それで移転された方を知っていますが、やはりそういうことについてちゃんと説明をする。それからもうひとつは、もし溢れそうな状態になった時に、携帯電話を使うのが一番いいと思います。あの時、たまたま狭山市から自動的にメールが入りました。たぶん設定を間違えて東村山まで発信してしまったのだと思いますが、「こういう状況で水位が上がっていますから、避難なり、畳を上げるなどのことをやってください」ということを知らせている自治体もあるんですね。データを持っているのはこちらですよ。北北建さんが雨量のデータも持っているし、水位のデータも持っている。それをどこにも発信していないでしょう。確かにインターネットで丸山橋の水位が出ていますけれど、一般の人はそんなものを見ている暇はないですよ。だから自動的に送るような方法を考えていただきたいです。

事務局

それは、ご意見として伺って、本庁の方にも伝えます。

都民委員

北北建さんと地元4市と携帯の事業者、大手は3社ありますけれど、そういうところと提携していただければ、決して難しい話ではないと思います。よろしく願います。

事務局

これは北北建でできる話ではないので、そういうご要望ということで。

都民委員

北北建さんだけではできないけれど、まとめるのは北北建さんがやるべき話でしょう、水防の話。だからそういうことをやっていただきたい。

事務局

ご要望としては、わかりました。

都民委員

それがやはり市民としては一番欲しい。一般の市民は、いきなり水が出てきて「どうしようどうしよう」って、それだけです。どこからも何の連絡も来ないし。東村山でも防災無線で何か言っているのはわかったけれど、雨降っているから窓を開けるわけにもいかないし。防災無線ははっきり言って役に立ちませんよ。よろしくお願いします。

都民委員

台風9号で、実際に溢れたところはあるのですか？ 何箇所もあるのですか？

事務局

北北建の管内で7箇所。前回の資料でご報告した柳瀬川2箇所、空堀川で2箇所、奈良橋川で3箇所です。

都民委員

前回説明していただいた資料に入っていた？

事務局

また一緒に合わせて見ていただいて、ご確認ください。

【平成29年度の工事予定箇所】

事務局

<資料-6にて概要説明を行った。>

- ・平成29年度の柳瀬川・空堀川・奈良橋川で河川工事が予定されている箇所を示した
- ・工事の詳細はまだ決まっていないところが多い
- ①空堀川整備工事（その75）
 - ・武蔵村山市の区間、神明橋の上流付近
- ②空堀川整備工事（その74）
 - ・旧芋窪街道の旧川に中砂橋があるが、新川の新中砂橋の付近
- ③空堀川整備工事（その64）
 - ・前年度から引き続きの工事で、視察していただいた工場の排水が出ている東芝中橋付近
- ④空堀川整備工事（その202）
 - ・前回ご意見頂いた箇所。旧河川敷の整備で、継続的に行う
- ⑤奈良橋川整備工事（その2-4）
 - ・視察していただき、前回もご説明した空堀川への合流点の整備。若干工期が延びている
- ⑥奈良橋川整備工事（その3）
 - ・合流点の上流側で、引き続きの整備工事が予定されている
- ⑦空堀川緑化工事及び維持工事
 - ・昨年は下流側の整備を行ってきたが、今年はその上流側で管理用通路の整備工事

⑧空堀川河床整備工事（その3）

- ・新合流点の上流側の河床を掘り下げていく工事で、昨年度実施箇所の上に上流側

⑨柳瀬川護床工設置工事（その2）

- ・一昨年から不調が続いているが、護岸沿いが洗堀されている箇所に護床工を設置する工事

⑩金山調節池維持しゅんせつ工事（その2）

- ・前年度から引き続きの金山調節池のしゅんせつ工事

団体委員

金山調節池は、またかいぼりをするのですか？

事務局

今年度は、そこまでは予定しておりません。昨年度は大きな中池の方をやりましたが、今年度はその川側というか、泥がいっぱい溜まっていて湿地状になっているというか、あそこのところですよ。

座長

中池と越流堰の間の部分、今までは湿地だったのですが、もう陸地化してしまっているんで、今回、かいぼりではなくて、機械で溜まった汚泥を掘削するという工事です。

団体委員

かいぼりをやっていた時、ほとんどリーダーシップがゼロだったので、よく考えて発注してください。あれでは全然意味がない。情けないというより、見ていて可哀想になってくる。という意見です、参考までに。

座長

具体的には、進行管理が悪かったということですか？

団体委員

いや、見ていて管理能力がほとんどなかったということです。

事務局

では、この件に関しては今年度やる時があったら個別に伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

団体委員

空堀川緑化工事及び維持工事は、具体的にはどのような工事ですか？

座長

緑化工事の方は、枯れてしまって空桝になっているところが多いので植栽をしていく。それに併せて、管理用通路の舗装がかなり傷んでいるところがあるので、その舗装の補修工事をいたします。

副座長

空堀川整備工事（その64）、東芝中橋の工事ですが、カワセミが営巣しているということで、市民が工事の影響を心配していますが、その辺は何か配慮ができるのでしょうか？ なかなか難しいところなのではないでしょうか？

事務局

土手になっているところですよ？ ちょっとここでは答えがないのですが。

副座長

考えだけでも示していただければいいです。

事務局

守れるものや、うまい方法があれば守るというのは当然我々も考えます。その工事で重機が入った

時にいれば、それなりに配慮しなければいけないと思いますし、結果的に逃げてしまっていたら、工事はやるということになるかと思いますが。

副座長

事例はありますか？ そういう営巣しているところを工事するという。配慮していただければいいのですが。

座長

営巣ブロックを付けたところもあるのですが、あまり居ついていないです。

都民委員

施工したという話を、私は聞いたことがありますよ、業者さんに。

事務局

やはり工事を行う際、治水上掘らなければいけない場所なので。

副座長

考え方で構いませんが。

事務局

可能なものは我々としても配慮します。無理にはやろうとは思っていません。

副座長

わかりました。市民の方がいろいろ心配して来るものですから、確認させていただきたかっただけです。できるだけ配慮していただければ。

都民委員

それに関連してですが、東大和の空堀川整備工事（その202）、前回図面をいただきましたが小さくてよくわからなくてA3判を送ってもらって見ていたら、これは高木橋のちょっと上流で旧川と新川が合流するところですよ。ここの右岸が、同様に、貴重なカワセミの営巣場所なんですよ。あの図面だと、そこがなくなってしまうと思うんです。右岸をいじる必要があるとは、私はとても思えないのですが。そこは繁殖地で、先ほどの場所とここしかないんですよ。実は去年、浄水橋の上流で巣を作って子供まで生まれましたけれど、ちょうど低水敷と高水敷の間の崖のところ、東村山にはそういうところしかなくて、6月くらいだったか、もうすぐ巣立ちするかなと思っていたら、大雨がきて全部流されてしまって。東村山は今、営巣できる場所がないんですよ、一箇所も。それをどんどん潰していくということは、空堀川にカワセミいなくなってしまうですよ。そういうことをお考えになってやっていらっしゃるのか。もうひとつは清瀬の方ですが、新しい合流点ないし分流点のところ、アユが上がったのですが、雨の後に急激に水が引いて。今の下流はコンクリートで固めていますよね。そこにいたのは、あの辺りの子どもがとりあえずすくって何匹か助けたいのですが。ここも、私共はプールにしてくださいという提案をしていたのですが、それについては何の説明もなしにやめてしまっているんですよ。だからここでは助からないんですよ、魚は。もう死屍累々ですよ。それともうひとつは、新空堀川のところですが、あそこに1.3mでしたか古い落差工があつて、新しいのに造りかえていただいて、そこもガチガチに固めてしまっていて、同じような様相なんです。以前は、コンクリートで固めていないから、上流側から下流側に自然に淵ができていて、そこで生き延びていたんです。新しくして良くなったかなと思ったら、逆に、アユが上がって両方で死んでいるんです。生物が生きられる場所をどんどんなくしているんですよ。

やはり終わった後に、よくPDCAサイクルと言いますが、今の北北建さんのやり方はプランとドゥ、設計はやります、施工もやります。じゃあチェック、その後どうなったか調べていらっしゃるでしょ

うか？それでまたどこか修正していかないといけませんよね。今までだってもう30年近くやっていっしょやるわけでしょう、そのフィードバックというのが全く感じられませんよね、残念ながら。やはり、そういうところに淵があって瀬があって、それで初めて生物が生きられる。淵でちょっと深いところがあれば洪水の時にそこに逃げられるし、小さな魚はそういうところがないと、流速が速いとみんな流されてしまうわけですね。そういうことを、やはりきちんと考えてやっていただきたいと思います。今の状況だと我々は本当に不安です。とてもいい川にはなりそうもない、50年経っても100年経っても。昨日も、川まつりでお子さん連れのお父さんやお母さん結構たくさん来られて、そういう説明したのですが、やはり今の子供たちが遊べたり、魚を捕ったり、鳥を見たり、そういうことができる川にしていきたいと思うんですよ。

座長

わかりました。今日それに回答するのは難しいので、ご意見として。

都民委員

今すぐ回答をくださいとは言いませんよ。でも要望としてそういうことを考えていただかないと。このまま進まれるのであれば、我々はもう対抗措置は何かということは決まってしまうですね。

団体委員

補足ですが、この前の前の雨の時に、石田橋のところまでアユが遡上したのですが、新合流点で造った橋の下の落差工のところにも遡上しました。でも、2～3日後、水がなくなりましたので、たぶん1匹もいません。空堀川の方は一晩にして完全に水が干上がって、工事をやったところの真っ平らになった石の上で何匹か死んでいました。今現在、新合流点から旧合流点の間では、魚はコイ以外に何もいません。溜まっているのへドロだけです。魚が生息できないような状態になっている。どんな工事をしたのかなと思います。それを上流へとやっていけば、水は無い、本当の空堀川になってしまふ。だから今のお話のとおり、たぶん最悪の事態になっていると思います。そういうことです。

座長

今回答は難しいですが、ご意見として伺わせていただきます。

【今後の進め方、分科会の設置について】

座長

今後の進め方について、いわゆる分科会形式にするかしないか、また、どういったことについて意見交換したいかを、全員の方にお伺いしたいと思います。今回初めてご参加の方もいらっしゃいますので、この会が基本的にどういう場であるかということをお話させていただきますと、設置要綱にもございますように、情報交換・意見交換の場であり、またみなさんからご提案があれば今後の業務の中で生かせるものは生かしていくという形になるかとは思いますが、何かを決議する場、何かのイベントや活動をするような団体ではございません。そうは言っても、多少の逸脱は今までもありましたし仕方ないと思いますが、基本的には情報交換のための会議体の場であるということをご認識いただければと思います。第7期は分科会形式をとっていましたが、メリット・デメリットがあると思います。メリットは、限られた時間の中でみなさんが意見を言える、話し合いがしやすい場が作れるということで、多くの方のご意見をいただくという意味では有効かと思えます。反面、全体としての情報共有、全員が認識をひとつにしていく、そのためには分科会に分けることがデメリットになる、というような面も出てくるかと思えます。その辺を踏まえて、全体でやるのか分科会に分けるのか、資料-7も参考にさせていただいて、どんなことについて意見交換をしたいのか、時間の関係でおひとり

2～3分という範囲内でご発言をお願いしたいと思います。

都民委員

7期の方がまとめた「空堀川の将来像」、大変立派なものが完成していますので、空堀川に対するみなさんや住民の想いは、こういった川にしてほしいということで完結していると思います。これ以上、話し合い、打ち合わせをする必要性は全くないと思います。では、なぜこの流域連絡会に集まって、今後何を話すのかということになると、先ほど議論にもなった、「今後こんな工事をやっていきますよ」という方向性があれば、それに対して市民の意見として「こういう川にしてほしい。こんな感じにしてほしい」ということが具体的に出てくると思います。そういった話が、この流域連絡会の中で大きな議題のひとつではないかと思えます。分科会にするか全体会にするかということについては、私は、全体会でこの川全体をみんなが一緒に見て、みんなが同じように感じながら、いい川をつくっていくというふうに会議を進めていった方がいいと思います。分科会にする必要性は全くないと思います。そうしないと、色々な知識を持っている人たち、その専門性が強い人たちが分科会で別れてしまうと、そこで言いたいことが言えない状況にもなってしまふのかなとも感じます。それで、意見としてすごくきつい言い方をなさる方たちがいらっしやいますよね。その辺はお互い様なので、工事を実際にやる人たちも、それなりに絶対苦勞していると思えますし、色々なことを考えながらやっていると思えますので、その辺のやりとりですよ。どこまで飲めてどこまでできないのか、できるできない、そういったことをはっきりさせて会議を進めていけばいいのではないかと思います。

都民委員

私は、清瀬市の柳瀬川のほとりで生まれて育って現在に至ります。確かに子供の頃は柳瀬川で魚を捕り、小鳥を見かけたりという生活をしてきましたが、柳瀬川が汚くなって子供が寄りつかないというような状態で今に至っているわけです。この連絡会に応募したのは、子供たちが遊べる、子供たちが思い出を作れるような川にするためのお手伝いができるのかなと思ったからで、それで参加させていただきました。今後については、7期の方がそれなりに議論してまとめたことだろうと思えますので、8期の方が改めてどうのこうのとすることではなく、これを基本に考えなくてはいけません。それで、治水は大事なことのだけれど、それと工事の兼ね合い。先ほど空堀川の話が出ましたけれど、魚の件については、空堀川と柳瀬川ではかなり環境というか状態が違いますよね。そういう面では、一緒くたに考えることはちょっと難しいと思います。それなりに空堀川の自然を維持するためには、工事をどのように進めていくかということを考えていただきたい。やはり住民の方の意見をどのように吸い上げていくか、特に空堀川の場合は非常に自然被害を受けやすいということで工事も難しいと思いますが、その辺を配慮していただければと思います。

会の進め方としては、私の場合、空堀川の上流の方の状況について十分把握できていない部分があるので、やはり全体的に進めた方がよろしいのではないかと思います。

都民委員

私は空堀川の野塩橋の近くに住んでおまして、よその地区のことはわかりませんが、台風の際は心配で。10年ぐらいになるカシのような木が歩道に植わっていて、それが3mくらいになって、年々その木が大きくなるものですから、川の向こう側を歩いている人とかが見えないんですね。どうして歩道のところにあんな大きな木を植えたのかなと思って。夜は見えないので、ちょっと怖いんですね。そしてもうひとつは、川の中のクワの木が年々大きくなって、大木のような木がたくさんあります。去年より今年は、その川に生えている木が大木になりつつあるので、あれはそのまま切らないでずっと置いておくのかな、と思っています。

座長

大きくなりすぎて倒木の危険があるような木は、伐採せざるを得ないということになってはいます。

都民委員

どれもみんな大きくなっていますよね。ちょっと間引きができるものであれば、と思っています。

座長

場所とか、後で具体的に教えていただければ。話の進め方としましてはどうでしょう？ 半分くらいのグループに分けた方が話しやすいですか。

都民委員

私は、他の地区のことはわからないので、やはり全体のみなさんの意見を聞きたいと思います。

団体委員

全体で話し合った方がいいと思います。特に分けても、水循環はだいたい結論が出ているはずです。水がないのはどうしようもない。あと、よそから持って来ようとしても、水利権が絡んでがんじがらめになってしまうと思うので、無理だろうから。あとは自前で調達するしかない。自前と言ったら地下水しかない、湧水しかないから。8年くらい工事を見していますが、工事をやる前は湧水がいっぱい湧いていたのに、終わったらなくなってしまっている。だからその辺を配慮していけば、結構湧水があるのかなと思います。今回の空堀川の河床工事を見ていたのですが、今ある河床のたぶん50cmくらい下に湧水があるんですね。それで湧水をそのまま汚泥処理しないで排水したから、魚がみんな死んでしまったんです。泥水が石の上に乗かってしまったもので、生物がみんな死んでしまった。これから夏に向かって子供たちが遊べるような状態ではなくなってしまっているというのは、ちょっと可哀想な状態かなと思います。川岸に草むらがいっぱいできて遊ぶのにはいい状態なのに、川の中が藻や泥だらけという状態はどうなのかなと。やはり、そういうことを考えながら、全体で話し合っていくのがいいのかなと思っています。

都民委員

前期、水循環の分科会のまとめ役を2年間やりましたが、水循環に関しては、結局、何も決まらなくて進展がなかったんです。今お話があったように、例えば玉川上水や野火止用水から水を引くとか、野火止用水は北多摩上流の下水処理水を浄化して流しているのですが、そういうことをやらないと、はっきり言ってもう間に合わない。理想論は、雨を土の中に浸透させて地下水を上げるのが一番いいのですが、それには相当な時間がかかります。東村山はもう10年以上、浸透櫛の助成金を出していますが、申し込みが年間20軒くらいしかありません。今、7万戸ありますから、単純に割ると350年かかるという話です。例えば、都心部は70年代に工場水をかなり上げていたので、工業権を買い上げてそれを全部やめさせました。それでやっと今頃復水してきているんですよ。だから、地下水を戻すのは理想だけど、それやるには非常に時間がかかりますよね。やはりよそから。もちろん水利権の問題とか、こちらは荒川流域ですから、玉川上水の水を引っ張ることになれば、多摩川の方が「なんだ」という話になるかもしれない。だけど、そういうことを考えていかないとしようがないと思っています。ですから、今年度に関しても、やはり水量確保、もうこれ一点に絞って全体会でやっていただきたいと思っています。

都民委員

今回初めて、8期でこの回に参加させていただいています。私は元々、東村山に住んだことがなかったと自己紹介させていただきましたが、「街の真ん中に川が流れている。これは素晴らしい街になるだろう」ということが住居を定める時の第一ポイントになったのです。もう16年経つのですが。

そして、その川についての活動をする会があるということで参加させていただきました。どんな会になるのかは、あまり知らないで参加したのですが、頭にあったのはホタル。川というのはホタルが飛び交う、本来、日本の川はそうであると。ホタルが飛び交わない川は川ではないだろうと、私の固定観念がありまして、生きているうちに空堀川をホタルが飛び交うような川にしたい、ということで参加しております。そんな意味からすれば、行政の方は治水という大きなテーマで挑んでいるのでしょ。何万年かできた空堀川という川を、新たにつくるというのは困難なことなので、先代から営々とつくられてきた川を大事に利活用している。治水でも活用しますが、親水性という意味から活用の機会があってもいいのではないかということをおもっております。そういうことでは、分科会よりは、7期でまとめられた「空堀川の将来像」、ホタル飛び交うということは書いてありませんが、これが実現できたら自然にホタル飛び交う川になると思いますので、このテーマを深く、それも時間をかけないで活動していくことが望まれるのではないかなと思います。全体会を通して活動していくことを希望いたします。

都民委員

まず、議事録案に「市民からのご要望もいただいていた」「地元のみなさんとも意見交換をして」「住民との意見調整を経て」と記載されている点について伺いたいのですが、そこに流連などの意見も反映されているのか、後ほど事務局の方からご回答よろしくお願いたします。それで、分科会にするか全体会にするかについてですが、個人的には全体会で実施していただきたいと思っております。7期のまとめの中の項目もありますが、先ほど他の委員の方から、例えば市民が体験する水防訓練などというような提案もありましたので、こういった全体会の中で防災安全というテーマを設けて、どうい防災訓練を実施すればいいのかということを検討してもいいのではないかなと思います。東村山市でも以前、別の所管で水防訓練というのは実施しております。実施してはおりますが、市民の参加人数は少ないかなと思います。なぜ少ないのか、行政が主体でやったから悪かったのか、どういう広報がいいのか、そういった部分も検討してもらえればいいのかなと思います。また、環境とか景観とかといったテーマの中で、どういった施工方法がいいのかなど、そういった部分を全体会の中で審議していただければと思います。

団体委員

昨日28日、空堀川の第19回川まつりということで、心配していたのですが、金曜日に雨がかなり降って水がまあまあ貯まって、当日の朝、トン袋で堰き止めていただいて、カヌーを12台くらい持ってきたのかな、全部で180人くらいでしたね。それから、今年初めてやりましたが、たも網を持って子供たちが、いわゆるガサガサ、魚捕りをする企画も45名くらい参加して。本当に、子供というのはどうしてあんなに川が好きなのかな？ 魚を捕ったりするのが好きなのかな？ 本当に嬉々としてやっているんですよ。こちらは疲れてしょうがなかったんですけど。7期と6期の時の座長さんも、この場でもはっきり言われていたと思うのですが、ここは情報交換の場であって、東京都の方で管理をするから、ここで提案されたことについて採用するとは限りません、というような話をきちっとされているわけですよ。そういう意味からすると、7期で作った「空堀川の将来像」というのがありますが、この中の4つをやれば、例えば最初の「常時涸れることのない川」、それから次の項目の「人工物で固めない、自然度のある川」、それから3番目に「多様な生物を保全し、生物を育む水辺環境のある川」、それから「大雨でも溢れない川、水害に強いまちづくり」。この4つさえやれば、全て完璧なはずですよ。あとのものは全部これについてきますから。だから、本当に北北建さんとして、「空堀川の将来像」となっていますが、100年先の将来なのか、あるいは少なくとも東京

オリンピック・パラリンピックの2020年までにこれを終わるとか、これに近いものやっというご意思があるのかどうか。もし、「いや、そんなことできません」というのであれば、この会は必要ないと思います。ただ情報交換というだけで「こういうことがありました。こういうふうにしてください」「はい聞いておきます。意見として伺っておきます」ということだけでは全く意味がない。だから基本的に、北北建さんとして東京都建設局として、この4つの項目を本当にやろうという気持ちがあるのかないかをはっきりしていただいた上で、とにかくそれに近づけるために精一杯努力をするということであれば、全体会として進めていくのがいいのかなと思います。

座長

お答えはまた後ほどさせていただきますが、もちろんその4つに関して、東京都としてはやっというご意思は、当然ございます。

行政委員

本日、議会の対応のため欠席させていただいております緑と公園課長の代理で参りました。私共、緑と公園課の意見としましては、貴重な情報交換、意見交換の場でありますので、このまま全体会という形で進めさせていただければと思います。

行政委員

まず、昨日の川まつりでは、みなさんありがとうございました。同じく、道路管理課長が議会対応ということで、代理で参加させていただいております。我々、道路管理課といたしましても、みなさん全体会でということでお話しされておりますので、そういったご意見をまとめていただければよろしいのかなと思います。

都民委員

私は環境のグループにいますのですが、少し前は清水富士見緑地のところで子供たちと水辺の体験をやったのですが、最近では、放射線汚染のこともあって子供たちと水辺の体験ができません。管理道路で散歩やジョギングで楽しんでいる方がいっぱいいるのですが、大人でも水辺を歩いたことがない方が結構多いので、東大和市でも親水公園というのがひとつ欲しいなと思いますし、水辺を歩けるように、北北建さんの方で河川敷を少しいじってほしいなと思います。私たちは勝手にいじることはできませんから。そうすることによって、水辺の自然を楽しみながら歩けると思うんですね。よく、水辺の生き物を観察するというプログラムを組んでやりましたが、やはり大人でも子供でも楽しめる親水公園があったらいいかなと思います。高木橋のところにも一か所とても自然が豊富なところがあるので、ぜひそこは残してほしいです。いつもクリーンアップで刈っていただいておりますが、去年はすごく外来種が多かったので、自分たちで鎌を持って、北北建さんの許可を取って、あまり大きな範囲ではありませんが、刈り取りました。フジバカマのような自生種を残しておきたいという気持ちの強い人たちが集まって、外来種の駆除をやりましたが、そういうこともやっていきたいなと思います。全体会にするか分科会にするかは、全体会でもいいのですが、水量確保というのもすごく大切ですが、それだけではないと思うので、色々なテーマを決めて話し合えたらいいなと思います。

副座長

今問われているのは、この会をどういうふうに運営するか、ということだと思います。分科会にするのか全体会にするのかも含めて。ですから、細かい内容を問うているわけではなくて、運営をどうするのかというところが大事だと思っています。聞いてみますと、全体会でやった方がいいのではないかという趣旨のご発言が多いようですが、私はいかなものかなと思っています。今日名簿で26人、欠席者がいて25人、ひとり2分話しても1時間近くかかって、2時間の会議の中で2回しゃべ

るのがやっと、その中でどんな結論が出ますか？ただ意見交換していつも終わり。これでは、今まで7期通してやってきたことと大して変わりません。ガラッと変えていかないと前へ進まない。言いたいことを言ってそれで終わりでもいいという人はそれでいいかもしれませんが、7期のまとめの何かを具体的に実行しようと考えたならば、テーマをいくつかに分けてしっかり議論し、全体会で情報を共有する形で運営せざるを得ない、と私はそう思います。それからもうひと言わせてもらおうと、流域連絡会というこの形そのものが疑問です。先ほども言ったとおり、今の形は情報交換・意見交換、それだけなんです。しかし、一昨年できた水循環基本法の考え方に従えば、流域マネジメントを流域協議会でやりなさい、ということになっています。流域マネジメントです。だから、そこには今日ご出席の方以外の行政の部門も入って、具体的にどういうふうに施策を進めるかに関して、都民あるいは団体も意見を言いつつ、流域マネジメントという概念でどうするかということが問われている。だから、流域連絡会は壊して、もう一度大きな形で柳瀬川・空堀川流域協議会でいいと思いますが、その中で流域マネジメントをどうするかという立場で議論すべきだと思います。今は河川中心ですよ。確かに流域の中で河川は中心ではあるけれど、河川だけではないので、周りの様々なものが全部影響してくるわけです。河川だけで議論するから中途半端になってしまう。具体的な例を言えば、東京都は一級河川の上流端までしか管理しません。実際に大きな影響を与えるのは源流域・水源域です。それが死んでしまっているから、今こういう状況になっている。ただ、これは対症的には非常に難しい問題です。そういう、今までの行政の中で上流端なんかをつくって、そこから上流の部分はわれ知らんということやるから、あるいは縦割り行政でやるから、おかしい河川行政になってしまっているわけです。ですから、もう少し大きな概念で見直しが必要です。そういう意味では、全体会もあり、かつテーマに分かれて分科会も必要でしょう。だから必要な分科会だったら、自由に上手く構成すべきだと。ただし、必ず毎回全体会の中で情報共有していくと。従来に近いといえば近いけれど、先ほど言ったように流域連絡会では限界があります、協議会にすべきだと申し上げたい。

行政委員

いつも空堀川に関して、みなさま方の生の声をお聞かせいただいております。行政といたしましても、ご意見に伝えられるよう北北建さんと共に頑張っていきたいと思っております。進め方につきましては、都民のみなさまのお考えに沿った形でやっていければと思います。

都民委員

空堀川の水の問題ですが、武蔵村山市のあたりでは空堀川に流れる支流がいくつかありますが、その調査がちゃんとできていないし、水がどこに行ってしまうのかよくわからないものがある。空堀川のすぐ近くの神社の傍に湧水があって、ずっと日照りの時でも流れている水があるのですが、空堀川のどこに流れているのかわからない。推察するに、どうも下水につないでしまっている感じがするんですね。空堀川の水量確保の対策として、市内にいくつも防災井戸が指定されていますよね、何かあった時には、お宅の井戸を住民の用水に使えるようにしてくださいという契約ですね。そういう井戸があると聞いて、私はホテルを飼っているのですが、お宅の井戸の水くださいとお願いしに行ったら、「こんなのは真っ赤な水で飲み物にならない」と、つまり放置されているんですね。いつでも飲めるような水にしておくという意味で初めて防災井戸ですよ。そうならないから、いつでも飲める水にするために、定期的に汲み上げて排水して、汲み上げて排水していくという行政措置を講ずるべきだろうと思います。そして、排水した水は空堀川に流れるように工夫するということができるのではないかなと思っていますが、どうも市役所の方はあまり関心がないらしく、聞いてくれそうありません。それから北北建さんにお願いしたいことのひとつとして、空堀川の現在の状況です。武蔵

村山界限では、これから工事が始まるわけですから、側道やなにかは草ボーボーですよ。手入れをしてもらっていません。昨日、クリーン作戦があって空堀川のゴミ拾いをやりました。空堀川のゴミについては、誰もやらずに放ったらかしになっていたので、ゴミ拾いを環境を守る会でやるから、出てきたゴミは市で面倒を見てくれと言ったら、「東京都の川を自分たちがやるの？」と市は初めとても嫌がりました。汚しているのは市民だからいいのではないかと、旗を立てて拾ったゴミを集めるような場所を作ってもらおうようにしました。それをやっている時に、市民が「ゴミ拾いもいいけど、この雑草とか側道の草とか、こういうのを整備してもらえないのか、きちんと出来上がるまで放ったらかしじゃなく」と言っていました。今でも側道は歩けますが、草がボーボーだから、とても楽しめる場所にはなっていないと。完成するまでほったらかしの行政ではなくて、それぞれの段階で川として楽しめるように予算を講じてほしいと思います。進め方については、分科会の方がいいのではないかなと思います。やはり人数が多すぎるとちょっと難しいのではないかなと思います。

行政委員

資料6の平成29年度の工事予定箇所の空堀川整備工事（その75）、ようやく武蔵村山市内神明地区の工事が今年度から開始されるということで、今までみなさんのご意見をお伺いしていた中で、その内容を今後の武蔵村山市内の空堀川の工事に役立てられればと感じている次第でございます。今年度から数年かけてこの地区を整備していただけると伺っておりますので、今後どうぞよろしくお願ひしたいと思います。今後の進め方につきましては、みなさまのご意見に合わせて、分科会を設置するでも全体会でもどちらでもいいのかなと考えていますので、例えば正・副座長のご意見、あるいはみなさんの多数決で決められるということであれば、それに従いたいと思います。

行政委員

今言われているように、この会の目的が色々あるかと思うのですが、確かに、水害に強い街づくりということと、環境・景観に配慮したというのは、なかなか相容れないところもあるとは思いますが、みなさんが意見交換をする中で、北北建さんが工事をするにあたって取り入れられるところは取り入れるというようなことがあるかと思っておりますので、意見交換会であったとしても、参考になることがいっぱいありますので、今後もこういう会を続けていくのがいいのかなと思います。進め方については、座長にお任せしたいと思います。

行政委員

4月1日に着任いたしましたして、本日初めて出席させていただきます。環境改善課というところは、水質汚濁防止法に基づいて、河川の水質を監視、水質を測ったりとか、排水の規制を行ったりしている部署でございます。この資料-7の中で言えば、関連行政ということで東京都の各部門が書いてありますが、こういった形で連携をさせていただくところかなと思っております。この会の中で、連携ということも含めてみなさまからのご意見を聞きながら、我々も自分たちの筋書きを進めていくにあたって修正などもさせていただこうと思っております。この会の進め方に関しましては、今回初めて出席したということもありますので、みなさんのご意見に従ってと思っております。

行政委員

河川部中小河川計画担当課長が本日議会対応のため代理で出席させていただいております。課長と同様、私も4月1日着任したばかりで、この会の経緯など、まだまだ勉強不足のところもございます。本日よりこの会に出席させていただいて、みなさんのご意見を伺いながら知識を深めていけたらと思っております。会の進め方に関しましては、これまでの経緯などまだまだ勉強中でございますので、みなさまのご意見に従いたいと思います。

行政委員

北北建管理課が扱っていますのは、河川の占用とか、そういう面の管理を行っています。また、先ほどもお話がありました河川流域を管理する面からも、監視を行っております。今後の会議の進め方ですが、みなさまの意見に沿って進めていくのが一番だと思っておりますので、そのようにお願いいたします。

座長

では、私も委員ですので意見を述べさせていただきます。厳しい意見もいただいたと思うのですが、とりあえず進め方については、全体会で、という方が多かったと思います。座長として進行役をさせていただいた感想から言うと、ふたつに分けた方が話がしやすいのかな、と個人的には思っております。今日色々なご意見を聞いた上で、またお考えが変わった方もいらっしゃると思いますけれど、後ほど、多数決というのもあまりよろしくない方法なのかもしれませんが、決めさせていただきたいなと思っております。

都民委員

北北建さんには色々と言いたいことがあります。市民の言っていることを工事に生かしていただきたい、それを一番思っています。というのは、分水工のところですが、あの工事の仕方では天然護岸は絶対に守れないと思っております。それから、空堀川上流の親水階段の近辺では、4年生の子供たちが環境学習で、植物やお花、生き物とかを観察しています。ずっと上流の方でも工事が始まってくると、護岸の下の草地がなくなってしまうのではないかと、すごく心配しています。あの工事の仕方だと、あそこはなくなりますよね。それをとても心配しています。子供たちのために、ぜひあそこは残していただきたいなと思っております。分水工のところはもう修正できませんよね。でも、あれでは絶対に自然護岸が壊れてしまうと思っております。それから、金山緑地公園のところにもカワセミの営巣地があって、右岸側の工事をする時に営巣地がなくなってしまうましたが、きれいに残していただいたので、またカワセミが帰ってきているみたいです。調節池にもかなりカワセミがいます。自然はいったん壊したら元に戻すのは、何十年か何百年か知りませんがかかるので、ぜひ市民の意見も聞いた上で工事をしていただきたいなと思っております。進め方は、分科会のほうが話しやすい。それで、今まで分科会の後に30分とか全体会がありましたよね。そういうやり方でもいいかなと思っております。

座長

それではひと通りご意見が出ましたので、どんなことを話していくか、工事のやり方に対しての要望ですとか、まず水量確保が一番の問題であるとか、水防訓練の話をしてもいいのではないかと、あとは草刈りの仕方の問題ですとか、多岐にわたってご意見をいただいたので、なかなかまとまりきらないかと思うので、また議事録も作った上でご議論いただきたいと思っておりますが、さしあたって進め方について、分科会に分けるか全体でやるか、圧倒的に全体でというご意見の方が多かったのですが、色々な方のお話しが出た上で、またさらに補足というかご意見があれば、お願いしたいのですが。

都民委員

私は全体でという意見ですが、例えば私の住んでいる清瀬で、「空堀川の河床工事をやります。こういう工事が入ります。じゃあどういふふうにやりましょうか」ということで、北北建さんが持っているアイディアに対して、「もうちょっとこうした方が多自然になるのではないですか」ということを言っていますけれど、それは我々の知識だけなので、他の河川に関心を持っている方の意見がその中に入ってくれば、もっといいものになると思うんです。ですから、そういう意味では私全体の方がいいのではないかと。あとは、防水や防災という意見もありましたが、そういったものをこの中で話し

合うのか。これは行政の方の仕事だと思うんですね、具体的にどういうことをやるかとか。そういったものは、我々の意見としては「やってくださいよ」ということで終わりだと思うんです。北北建さんが主導して、その地域の行政の人たちに声をかけて、防災をこういうふうにやりましょうよというような、そのような具体的な案とかは、ここで出すものなのか、私としてはよくわからないのですが。

座長

こういう形でやってほしいというのはあったと思いますが。

都民委員

立場の問題とか、この会議がどういう役割を持つのかということを考えないと話が先に行かないです。言いたいことだけ言ってくれれば、あとは野となれ山となれという会議なのか、市民の声を持ち込んでいったらとことん取り上げてもらえるのか、そういう要求を突きつける場ではないということなのか。

座長

そうですね。色々なご要望、工事に関するもの、その他も色々いただきます。もちろん、聞きっぱなしで、あとは野となれなどということは決してごさいません。極力できるものは反映させていただきます。ただ、すべてがすべてというわけには、もちろんいかないと思いますけれど、その辺はご報告も必要かとは思いますが。「聞きっぱなしで終わるだけじゃ、やっている意味なんかないじゃないか」という、厳しいご意見も出ましたけど、それもごもつともなお話ですので、もちろんそうならないように最大限努力はいたします。

団体委員

前の課長さんは市民の意見を全然聞いてくれませんでした。河川のベテランの先生二人が指導してくれたのに、それも一切無視、話を聞いてくれませんでした。国交省に相談に行ったら、紹介されたのがその二人の先生で、そのどちらかに指導してもらいなさいと。東京都は一切聞きません。そのような態度を取っていると、どうしても市民との間に距離ができてしまいます。そこをどうするのか、本当に聞いてくれるのであればいいのだけれど、そこが一番問題ではないかなと。だから市民の意見を取り入れて河川行政をやっていくのか、ただトップダウンで、がんじがらめにしてどうしてもやるというのか。

座長

可能であるかどうかというのが、まずひとつの大きな判断材料になりますし、前任の課長を弁護するわけではないですが、聞けなかったというのは、たぶん聞く気がなかったということではなく、タイムスケジュールを切って事業を駆け足でやっていく中で、ご要望いただいたことをすぐには反映できない場合も、やむを得ず出てくることもあるかと思えます。それはもちろん、可能であればまた次の時に反映するというのも考えていくのですが。そういった意味で、全然聞けなかったということもないと思うのですが。工事を進めていく中でタイムスケジュールに追われて、やむなくやったようなところは、前の課長だけでなくこれからも出てくるかと思えます。その辺も少しご理解いただければと思います。できることは、もちろんやっていきます。

団体委員

聞いてもらえていたら、たぶん生態系もきちんと維持できて、いい河川になったと思うんですね。一番ひどかった課長さんは、最後に話し合いをした時に捨て台詞を残して帰っていった。それで、そのまま退職していきました。

都民委員

前年度まではそうでした。その先生に北北建さんに来ていただいてお話していただいたのですが、課長さんは全然聞く耳を持っていませんでした。それで今、多自然川づくりと言われてますよね。でも、昔の工事の仕方です。境橋から上流ですか、あそこは河床をもっと広くしたら、あんなに川底を深く掘らなくてもよかったです。「傾斜を3:1にすれば住民の人たちがみんな川へ入って遊ぶ」と言ったけれど、3:1ではとても危険ですよ。それで今、柵がありますよね。柵は絶対に付けないという約束でしたが、付けましたね。本当に遊べる川にするには河床を広くしないとだめなんです。だから河床をそんなに深く掘る必要はないのではないかと、私はずっと思っています。あと分土工のところですが、ずいぶん湧水が出ていたのですが、コンクリートになって、今はあまり出ていません。本当にあの護岸が壊れるのではないかと、いつも心配しています。

団体委員

毎日あそこを散歩して歩きますが、橋の上から見るとまるで軍艦みたいですよ。異様な光景なんです。要するに、河畔林のところ、周りの自然と全然マッチしない。デザインの仕方というのか、石の色とか。埼玉県の方に行って聞いてみたら、石の色からして選定すると言っていました。東京都に聞いたら、「石の色？関係ない。」と。やはり、市民のちょっとした意見を取り入れて、市民が親しめるような河川をつくってほしい。今だとつくりっぱなしですよ。

都民委員

あの分土工は残念だと思います。あその分土工については先生のアドバイスもかなりあったのに、北北建さんに聞いていただけなかったのは、本当に残念だと思います。

都民委員

そういう意見がすごく多いので、工事をやった北北建さんが大丈夫だよと言えば、私はそこで話が終わると思うのですが、ずっとお聞きになっているばかりですよ。絶対壊れませんって、多少は壊れるけれど前よりは絶対にいいですよって、自信を持った意見というか、お話しはできないのですか。前よりは絶対にいいですよ。

座長

我々も、河畔林の所の計測はしています。現在、これまでの掘れ具合からすると安定している、すぐにやられることはないかなと判断していますが、今後、観測を続けていく中で動きがあれば、またできることはやっていこうと思っています。できることという言い方は申し訳ないですけど、工事箇所が我々だけですべて決められないこともあって、できることはやっていきたいと思っています。

団体委員

一番いいのは、先生の指導でできた落差工ですよ。こちらの落差工は魚が上ってくるんですよ。北北建さんがこの前やった落差工は上れないんです。最後のところに関所があるので、そこでみんなご臨終。新しく造った新柳瀬川の方の落差工は、上ったら水がありません。アユが頑張って上ってくるんですよ。それで、跳ねて上ったら水がないという、最悪の状態になっているんです。そんな河川をつくって誰が喜ぶのか。喜んでいるのは鳥ですよ、いい餌がいたって。だから、市民の意見を取り入れた河川行政をやってほしいなど。

都民委員

できないことは言いません、工事についてよく分からないので。でも、多少は聞く耳を持っていたきたいなと思っています。

座長

それは、そうさせていただきたいと思います。

団体委員

清瀬に唯一ある親水施設のところで、あそこもお願いしたんですね。流線を変えてくださいって。子供たちが、幼稚園児も降りているんですよ。岸の方に流線が動いてしまっているの、子供たちが降りていくのが大変なんですね。下に水がいっぱいあって降りるのが大変だったら、大人がひとりひとり抱えて行かなくてはいけない。流線を変えてあげれば降りられたのに、なかなかやってくれないんですよ。無視されているのか、やる気がないのか、どっちなのか全然よくわからないけれど。

座長

手が回らないというのが実情だと思いますが。

団体委員

だから、要するに市民目線でやってくれないと。清瀬橋から下りる階段のところに手すりを付けましたよね。あれも、手すりを真ん中に付ければいいものを、なぜ端につけたのか。端ではツタしか絡まっていないですよ。誰も利用する人はいないですよ、あの扇形に下りる階段。要するに、付けたことを誰も知らない。勝手に付けたんですね、北北建さんが。ひと言相談してくれば、お年寄りはこちらしか通らないということがわかるのに。

座長

時間が迫ってまいりましたので、どんなテーマにするかは、整理をしてまた次回お話をさせていただきたいと思いますが、さしあたって、全員で話をするかグループで話をするか、甚だ乱暴な方法ではございますが、多数決ということでもよろしいでしょうか。

行政委員

先ほど、お任せしますと言ってしまったので、多数決と言われましても、どうしたらいいでしょうか。

座長

お任せの方はお任せで。どちらかを決めてくださいという意味ではございません。多数決と言いましたけれど、いかがですか？

団体委員

一点、先ほど出ていたごみ処分の件についてですが、東京都が答えなかったから言うと、河川内のゴミは市で片付ける必要はありません。

都民委員

いや、それは違う。廃棄物規制法では、その市内の物はすべて自治体が処分しなさいというふうになっています。法律でそうになっていますよ。私もそういう仕事をしてきたからわかりますが。

都民委員

昨日、清瀬市でも一斉清掃して川の中のゴミを拾いましたけれど、それは清瀬市が片付けることになっています。だから、北北建さんには今日連絡ありませんでしたよね？ たぶん清瀬市が片付けたと思います。

団体委員

そういうやつでしょう。普段のゴミは東京都が片付けていますよね？

座長

河川区域内ですから東京都でやっています。

都民委員

工事を発注してやったら、東京都さんがやります。それはそうなんです。けど法律的には、その地方自治体がやる。それは廃棄物規制法で、法律でそうなっています。

団体委員

私たちがやったやつは東京都が片付けた。市は片付けていないんです。

都民委員

それは市がおかしい。

団体委員

河川の中は、市はっさい手を出さないんです。

都民委員

話がおかしいです。河川区域だって市の区域の中ですよ。川の中に入る入らないじゃないです。後の処分の問題ですよ。まあ、それは廃棄物処理法をよく読んでください。

座長

そうですね。こういう話も、我々も調べた上でということ。

都民委員

私は全体会でというお話をしたのですが、6期も7期もそうでしたが、やはり、どなたかもおっしゃられたように、全体会でやるとしても、その回のテーマというのを事前に決めて予め通知していただければ、私たちもそれに対して用意はできるので。その場でこのテーマでやりますと言われても、困るんですよ。だから、どういうテーマがいいかというのを、例えば次回の前に、こういうテーマでやりたいですよというのを委員のみなさんから出していただいて、それを各回に割り当てるという、そういう方法もあるのではないかと。そうしないと議論が進まないですよ。議論が発散してしまう。テーマについては、あってもせいぜいふたつくらい、ひとつかふたつですよ。水量確保なんていうのは非常に大きな問題だから、他のものと一緒にしても無理だと思います。

座長

その回でやるテーマを事前にお知らせするというで。

都民委員

今回、委員のみなさんに、第8期後半、こういうテーマでやりたいということを募っていますから、その中から選んで、今回はこういうテーマでいきますということを事前に言っていただければ、それなりの資料も提出できるでしょうし、北北建さんも準備ができるのではないかと思います。

都民委員

そもそも今年度は何回やるのですか？1回しかやらないのであれば分科会とかをやっても意味がないと思うので、概ね何回を目途にしているのでしょうか。

座長

私共で今考えておりますのは、四半期ごとに1回という形でやらせていただければと思っております。

団体委員

7期までは、建前で毎月1回ということでしたよね？

事務局

7期の前半まではそうでした。

都民委員

6期や7期は、8月とか特別な月や年末は別にして、ほぼ毎月開いていただいたと思いますが、四

半期に1回ということは4回しかない。それで、議論の場ではなく意見交換の場というお立場なんでしょうけれど、とても進まないですね。私は東村山に住んで30年ですが、はっきり言って今みたいに水の少ない川を見たことがないです。特に、3～4年前に東大和で旧川から新川に切り替えて、あれでもう水量は半分以下です。東村山の市内は6kmあるのですが、最近は流れていないのが大部分で所々ちよろちよろぐらいしか来ないんですよ。それで川かと。昨日来られた方にも言われました。今日は、たまたま一昨日雨が降ったから流れているよね。だけどその前の1～2週間、全く流れていないんですよ。魚もいない、当然鳥も来ない、そんな川です。まず、それを解消するというのが一番大切なことではないかと、私は思うんです。

団体委員

とりあえず2ヶ月に1回ということでは、どうでしょうか？

座長

申し訳ありませんが、私共の体力的な部分もあって、ちょっとこの場でもっと詰めますみたいなお話は申し上げられません。

団体委員

ちょっと検討してもらいたいです。先ほどからお話が出ているように、次回これとこれとこれ3つについてやりますということが決まれば、1回の時間の中で密度の高い話ができると思います。だから必ずしもみんなが発言しなくてもいいと思うし、それにこだわらなくても。特に、時間内にやってしまいたいというふうな考え方は、できればもうやめていただいて、テーマをとにかく絞ってしっかりした議論を。もうあまり時間がないので、次回をいつ頃やる予定なのか、次回はこれとこれとこれについてとか、もう一回全体会議をしましょう。その時に、もう一度どういう方向で話を進めていかをやりましょう。今日ここで多数決をとってもしょうがない。

座長

ちょっと多数決は乱暴かなと思ったのですが。今日できれば次回の話の進め方、全体会にするのか分科会にするのかだけでも決めたいなと思ってはいたのですが。どうでしょうか、今日決めるというのはちょっと乱暴でしょうか。

団体委員

座長・副座長で決めていただいていた方がいいですよ、そうしないとなかなか難しいです。

座長

とりあえず意見を伺った上でということ。

事務局

多かったのは、みんな一緒に全体でやって意見交換した方がいいんじゃないかということ。ただ、副座長初め何人かの方から、議論の機会がなかなかないので、少ない方が話しやすいという意見もありました。先ほどご意見があったように、とりあえず次回はまた全体で「今日の議事でこんなテーマが出ました。その中でこれはどうでしょう」ということをみんなで議論して、これだったらみんなですべていいねということ合意をいただくか、あるいは分けた方がいいねということになるのか、ということですかね。

団体委員

8期で新しい人がいらっしゃるわけだから、どういう方向にするのかというのが非常に大事だと思うので、次回もう1回やったらいかがですか。

都民委員

今日、座長がみなさんにご意見を賜ったので、それを事務局で精査していただいて、事務局並びに座長・副座長で決めた方がいいと思います。今回8期目ということですが、毎回、次9期目でどういう内容で運用していこうとか、そんなことをやっていたら会議にならないと思うので、時間がもつたいたないと思います。まして、みなさん、委員として個々のご意見をお持ちなので、まとまるものもまとまらないと個人的には思いますので、私は一任いたします。

座長

今お話に出ましたが、今日伺ったご意見を踏まえて、副座長並びに事務局と、とりあえず案を決めさせていただいて、次回報告するという形でよろしいでしょうか。(各委員了承)ではそのような形にさせていただきます。

【その他】

副座長

<資料にて第30回空堀川クリーンアップについて概要報告がありました。>

- ・4月15日に、東村山地域と東大和地域と同時開催で東大和のクリーンアップを実施しました
- ・北北建から3名、東大和市環境課から2名お越しいただきました
- ・名簿上では82名の方にご参加いただいて、比較的短時間で作業ができました
- ・結果として、ゴミ120kgプラス資源ゴミを回収できました
- ・このクリーンアップは、従来までは当流域連絡会のクリーンキャンペーンという位置づけで行わせていただいたので、ご報告させていただきました。お許しいただければ、次回以降もこの流域連絡会のクリーンキャンペーンの中で実行させていただきたい
- ・他の参加団体からのご意向があったので、ゆくゆくは武蔵村山地域のみなさんと、同時開催ではなくていいので、一緒に行いたい

座長

東村山市はクリーンアップの話はよろしいですか。

団体委員

同じようにやったのですが、だいたい似たようなものです。ただ、過去一番ゴミの量も人手も多かったです。

副座長

東大和は、上から見るとゴミはないような感じだったのですが、やはり拾ってみると100kgを超えたのですが、いつもよりは少ないですよ。

団体委員

できれば清瀬さんも一緒にやっていただきたいのですが、清瀬が先にやって、しばらくすると東村山からゴミが流れてくるというのでは困るので、できれば一緒にやっていただきたいという。

都民委員

清瀬は、上流が終わってからやった方が、ゴミがきれいに取れるんですよ。その方が、回収率が高い。流れ切った後に。